

## 自動車税窓口納付のご協力 ありがとうございました

皆さまにご協力いただきました平成23年度自動車税の納税状況が、下表のとおりとなりました。

本村に登録されている車は1,524台で、昨年比50台の減少で、村の歳入(県税取扱費)は昨年と比較して18,676円の減少となりました。また、窓口納付台数の割合については38.7%となり昨年より0.9%の減となりました。

今後とも窓口納付にご理解ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。

年度	納税台数	納税額(円)	村収入額(円)
21	691	25,336,000	506,720
22	624	22,365,300	447,306
23	590	21,431,500	428,630

※平成23年度村収入額は予定額です。

問合せ 税務課 電話 82-1224

## 神宮前小学校と交流

### ～東小学校～

7月7日、渋谷区立神宮前小学校の5年生が東秩父村を訪れ、東小学校5年生と交流を図りました。

はじめに、和紙の里において、紙漉きとタペストリー作りを体験しました。子どもたちは、初めての体験に少し緊張した様子でしたが、漉いた和紙に上手に草や花を飾りつけ、オリジナルのタペストリーが出来上がりました。

次に、学校応援コーディネーターの関根高義さん(御堂)の田んぼで、東小学校の5年生と雑草取りを行い、子どもたちは、裸足で田んぼに入り、歓声を上げながら楽しんでいました。



## 「生きる力」の基礎を育む 「じゃがいも掘り」体験

今年度、最初の土に触れる園外体験保育は、江原國利さん(奥沢)のご好意による「じゃがいも掘り」でした。江原さんは、子どもを潮干狩りに連れて行つたとき、砂をかきわけて貝を採る子どもの感動する姿が思い出されるかと語っていました。潮干狩りの回想と土の中から「じゃがいも」を手取る感動」とが重なり、園児の体験的活動に至りました。

当日(6月28日)は、江原さんご夫妻、足立理助さんご夫妻(奥沢)をはじめ、たくさんの子育て支援隊が園児の到着を今か今かと待っていました。その思いに感謝、感謝です。

埼玉県教育委員会は、保育園・幼稚園・小学校向けに、子どもの発達や学びの連続性を踏まえた教育活動を基本に、生きる力を育て、絆を深める埼玉教育を推進しています。その一つの柱として、子育ての目安「三つのめばえ」を示しました。保育園・幼稚園教育は、義務教育以降の教育の基礎であり、幼児期の発達段階を踏まえ「生きる力」の基礎を培うものです。

「三つのめばえ」は、小学校入学までに育てたい目安として、生活の場、他者との関係、興味・関心の三つの領域で構成されています。三つの領域の内容の一つに「心を動かす出来事に触れる。親しみをもって日常のあいさつ(おはようございます、さようなら、ありがとう)をする。」があります。子育ての目安「三つのめばえ」の内容項目は、生涯



にわたる人格形成の基礎となるもので、幼児期に身につけることにより、小・中学校生活の充実のもとより、「生きる力」の基礎を育むこととなります。子どもたちの体験的活動の教育的意義は、体験的活動をすることで自らに自信を持ち、自己学習力や自己生活力が育成されることです。

今回の「じゃがいも掘り」は、園内での学びを自ら考え、自ら判断して、社会の実体験で生かす貴重な体験でした。ありがとうございました。

城山保育所長

## ご寄付ありがとうございました

- ◆DUAL(株)様より762,000円を東秩父村へご寄付いただきました。
- ◆比企地域労働者福祉協議会会長 野口聡様より10,000円を東秩父村社会福祉協議会へご寄付いただきました。
- 東日本大震災義援金(6月8日～30日分) 社会福祉協議会窓口 125,141円